

第 17 回滋賀県下水道審議会

日 時：令和 5 年(2023 年)11 月 13 日(月)

10:30～12:00

場 所：大津合同庁舎 7 階 7-A 会議室

次 第

1. 開 会

- (1) あいさつ
- (2) 第 5 期委員の紹介、会長・副会長の選出について
- (3) 第 5 期委員の所属部会について

2. 議 題

- (1) 経営戦略の見直しに対する答申について
- (2) (諮問) 汚水処理施設整備構想の見直しについて
- (3) (諮問) 地方公営企業法の適用について
- (4) 東北部浄化センターの汚泥処理方法の基本方針について

3. 閉 会

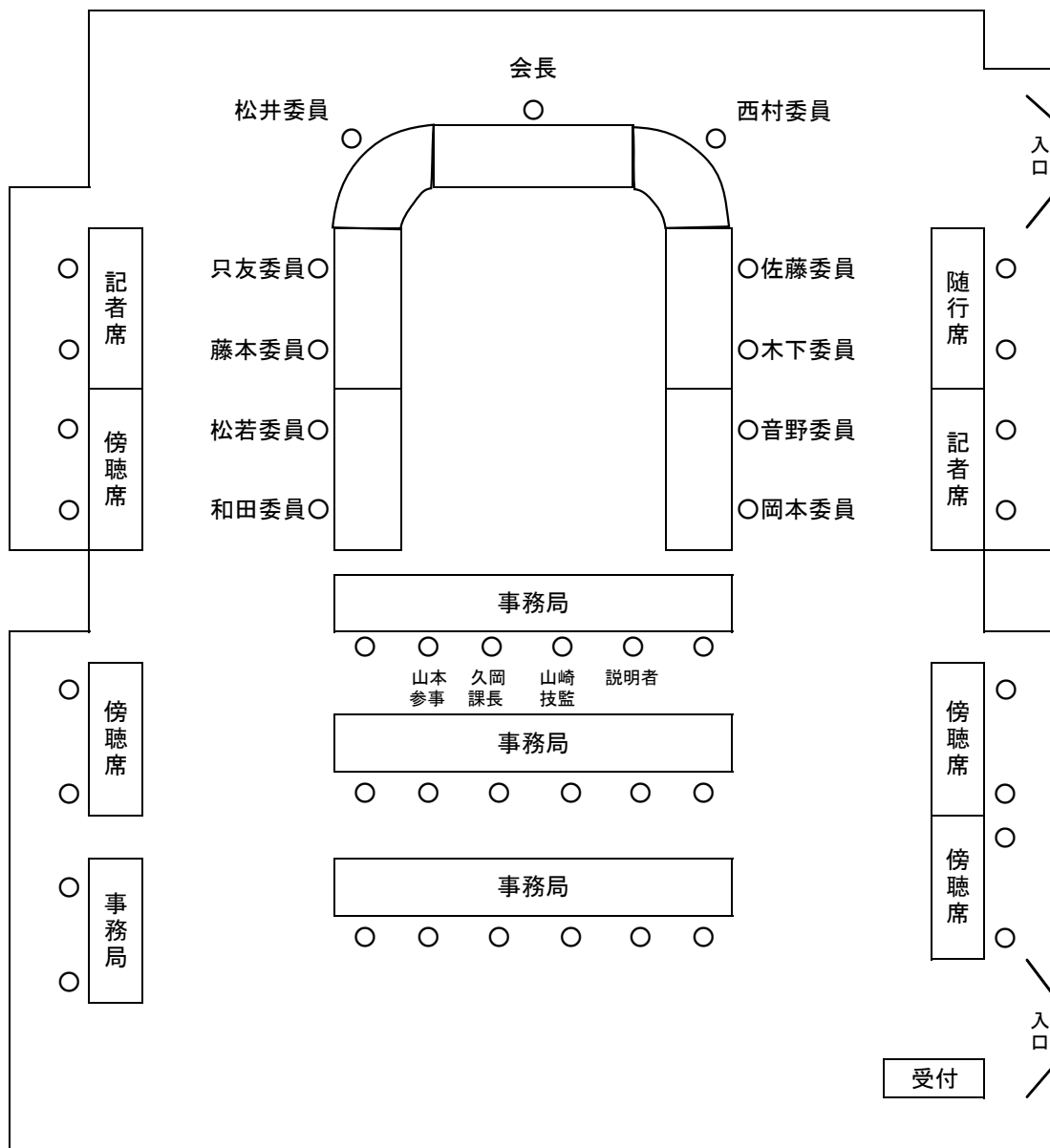
配付資料

- ・ 次第
- ・ 配席図
- ・ 滋賀県下水道審議会委員名簿
- ・ 下水道審議会説明資料
- ・ 資料 1 滋賀県下水道審議会委員名簿 部会別 (案)
- ・ 資料 2-1 経営戦略の見直しに対する答申(案)
- ・ 資料 2-2、3 経営戦略の見直しについての説明資料
- ・ 資料 3-1 汚水処理施設整備構想の見直しについて(諮問)
- ・ 資料 3-2 汚水処理施設整備構想の見直しについての説明資料
- ・ 資料 4-1 地方公営企業法の適用について(諮問)
- ・ 資料 4-2 地方公営企業法の適用についての説明資料
- ・ 資料 5 東北部浄化センターの汚泥処理方法の基本方針についての説明資料

第17回滋賀県下水道審議会

滋賀県大津合同庁舎 7-A会議室

配席表



令和5年11月1日時点

滋賀県下水道審議会委員名簿

<委員>

(第5期: 令和5年10月1日～令和7年9月30日)

氏名	所属名・役職	備考
おかもと めぐみ 岡本 恵美	大津市商工会議所女性会 幹事	
おとの じゅんこ 音野 潤子	滋賀県地域女性団体連合会 副会長	
きのした やすよ 木下 康代	すみれ法律事務所 弁護士	
さとう けんじ 佐藤 健司	大津市長	
ただとも けいし 只友 景士	龍谷大学政策学部 教授	
にしむら ふみたけ 西村 文武	京都大学大学院工学研究科附属 流域圏総合環境質研究センター 教授	
ふじもと としみ 藤本 俊巳	公募委員	
まつい さぶろう 松井 三郎	京都大学 名誉教授	
まつわか えりこ 松若 恵理子	公認会計士松若恵理子事務所 所長	
わだ けいこ 和田 桂子	(一社)近畿建設協会 水環境研究部門 顧問 京都大学防災研究所 特任教授	

<臨時委員>

氏名	所属名・役職	
おおした かずゆき 大下 和徹	京都大学大学院工学研究科 准教授	
ふじもと ひろゆき 藤本 裕之	(公財)日本下水道新技術機構 資源循環研究部 部長	
まつうら そういち 松浦 総一	立命館大学経営学部 准教授	

五十音順(敬称略)

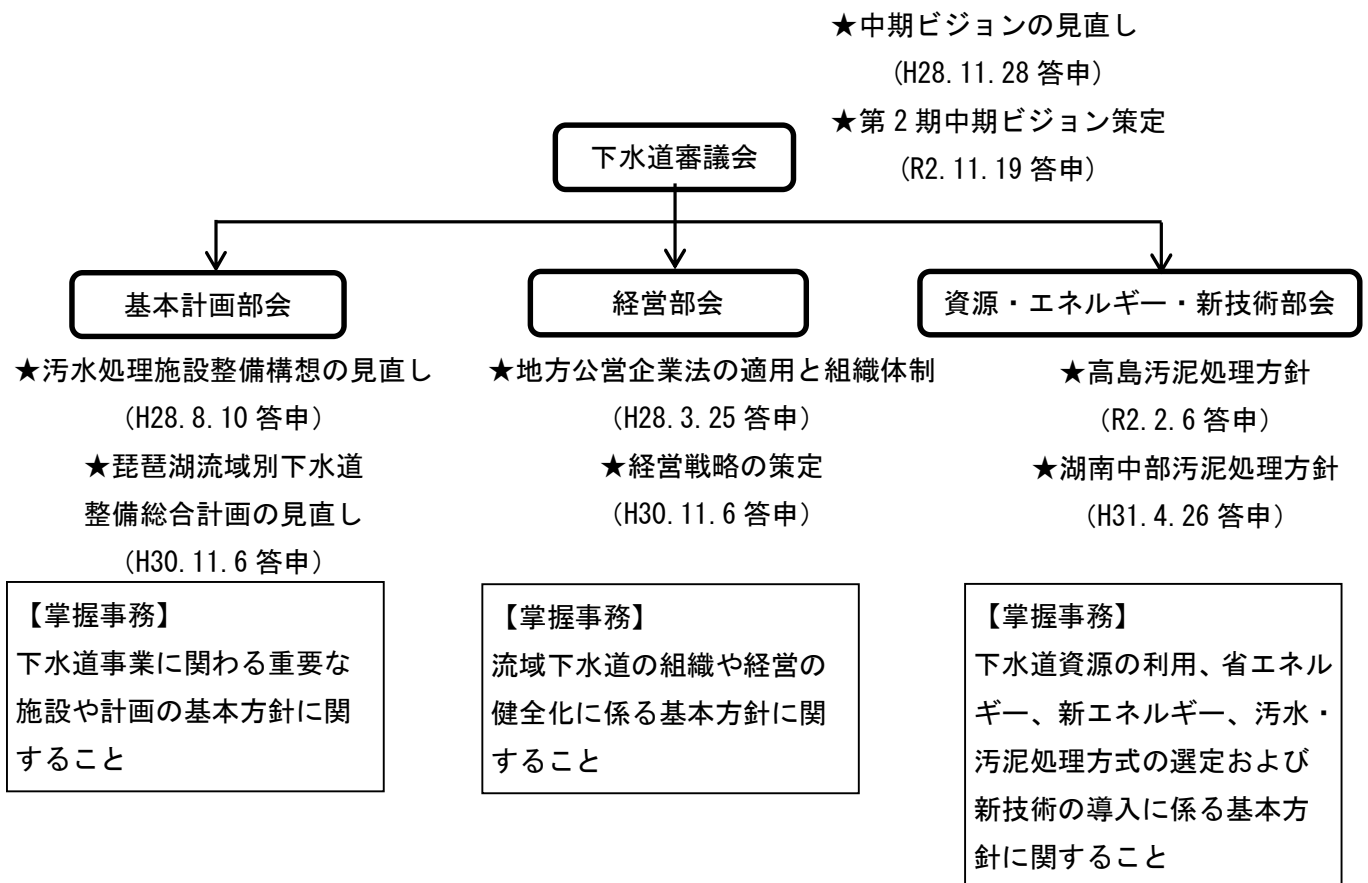
滋賀県下水道審議会について

1. 設置趣旨

地方自治法第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、知事の附属機関として、知事の諮問に応じ、下水道事業その他汚水処理に係る事業に関する総合的な施策の推進に関する重要事項について調査審議を行うことを目的として設置しています。

(「滋賀県琵琶湖流域下水道事業の設置等に関する条例」第 21 条より)

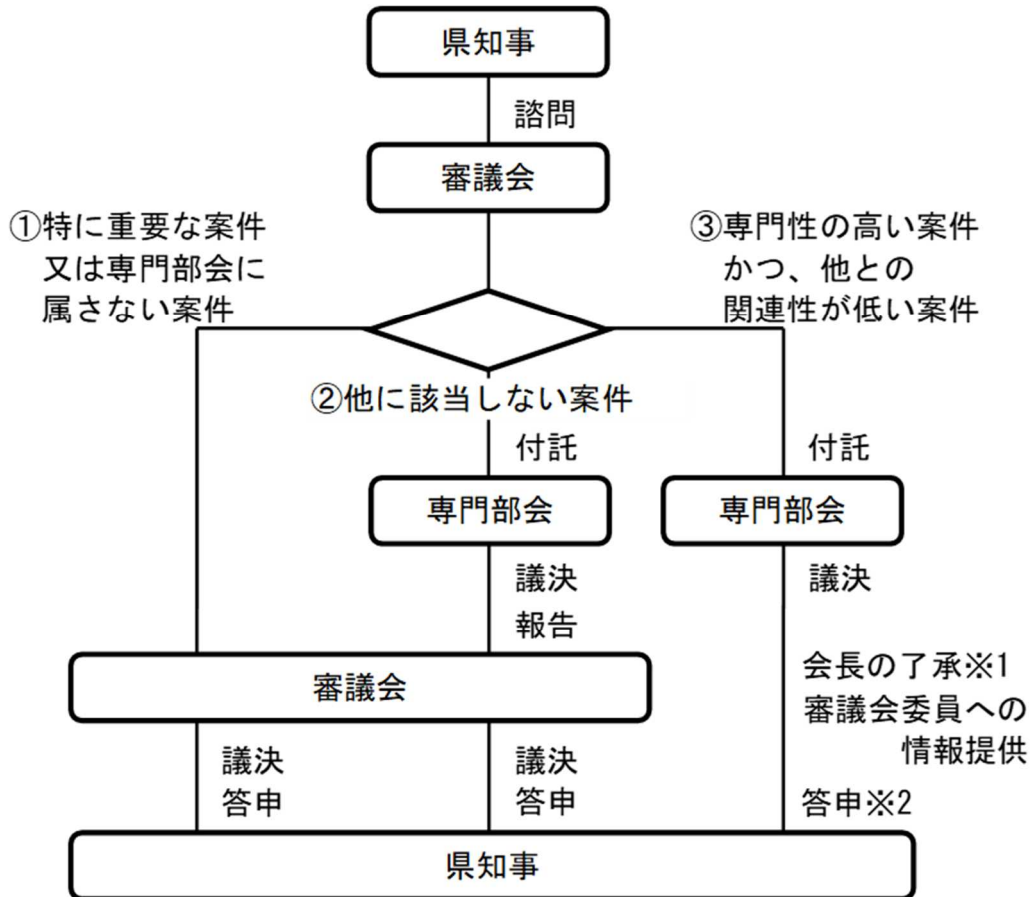
2. 審議会の構成部会



3. 審議会の組織等

- 1 審議会は、委員 16 人以内で組織する。
- 2 委員は、学識経験を有する者その他知事が適当と認める者のうちから知事が任命する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることを妨げない。

4. 審議会、専門部会での検討、議決の流れ



※1：「了承」は会長の権限で行う。※2：「答申」は会長が行う

(参考)

■滋賀県琵琶湖流域下水道事業の設置等に関する条例 (抜粋)

(滋賀県下水道審議会)

第 21 条 地方自治法第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、知事の附属機関として、滋賀県下水道審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

2 審議会は、知事の諮問に応じ、下水道事業その他汚水処理に係る事業に関する総合的な施策の推進に関する重要事項について調査審議する。

(審議会の組織等)

第 22 条 審議会は、委員 16 人以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者その他知事が適当と認める者のうちから知事が任命する。

3 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることを妨げない。

5 審議会に、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員を置くことができる。

6 臨時委員は、当該特別の事項に関し学識経験を有する者のうちから知事が任命する。

7 臨時委員は、その者の任命に係る当該特別の事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

8 委員および臨時委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

9 審議会は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

10 前各項に定めるもののほか、審議会の組織および運営に関し必要な事項は、規則で定める。

■滋賀県琵琶湖流域下水道事業の設置等に関する条例施行規則（抜粋）

（審議会の会長および副会長）

第 17 条 審議会に会長および副会長 1 人を置く。

2 会長および副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第 18 条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 審議会は、委員および議事に関係のある臨時委員の 2 分の 1 以上が出席しなければ会議を開くことができない。

4 審議会の議事は、委員および議事に関係のある臨時委員で出席したものの過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（部会）

第 19 条 条例第 22 条第 9 項の規定により部会が置かれた場合における部会に属すべき委員および臨時委員は、会長が指名する。

2 部会に部会長を置き、会長が指名する委員をもって充てる。

3 部会長は、部会の事務を掌理し、部会を代表する。

4 部会長は、特別の事項に関する調査審議を終了したとき、または会長が求めるときは、その結果または経過を会長に報告しなければならない。

5 審議会は、その定めるところにより、部会の議決をもって審議会の議決とすることができる。

6 前条の規定は、部会について準用する。この場合において、同条第 1 項および第 2 項中「会長」とあるのは、「部会長」と読み替えるものとする。

（関係者の出席等）

第 20 条 会長および部会長は、審議会および部会の議事に関して必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見を聴き、または関係資料等の提出を求めることができる。

（庶務）

第 21 条 審議会の庶務は、琵琶湖環境部下水道課において処理する。

（雑則）

第 22 条 第 17 条から前条までに定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

（委任）

第 23 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、知事が別に定める。